



市立旭川病院 医療連携NEWS

No.14 2018.2.26

市内病院の医療連携実務者による情報交換について 【旭川医療連携実務者ネットワーク】

年齢を重ねても、病気になっても、住み慣れたところで生活を続けることができる地域づくりを進めていく必要があります。旭川でも医療・介護・福祉などの関係者が様々な機会に勉強あるいは議論をしている状況と思われます。

このような中、市内病院で「連携」を担当する者同士がつながりを強めて仕事に生かそうと集まりを持ち始めました。メンバーは、平成27年に市内病院（20床以上）のうちネットワーク設立の趣旨に賛同された33施設がベースとなっており、市立旭川病院も参加させていただいているところです。

まずは連携担当者が顔の見える関係を築いてお互いの病院を知り合うことを中心に取り組むこととして、昨年8月と今年1月に情報交換会を開催しました。

旭川医療連携実務者ネットワーク 情報交換会

- 第1回 平成29年8月24日（木）
参加 20施設・58人
- 第2回 平成30年1月22日（月）
参加 13施設・38人



各病院は、いわゆる連携室を設置して専門の職員がいるところもあれば、組織がなくて他の業務を兼任しながら職員が孤軍奮闘しているところもあります。ゆっくりとした歩みではありますが、この集まりが医療連携実務者の仕事を円滑にし、地域の医療連携を強化して、理想の地域づくりに貢献できることを期待しています。

「緩和ケア勉強会」と「がん化学療法勉強会」について

市立旭川病院では、院内で開催する研修・講演などのプログラムに、地域の医療機関職員や介護・福祉事業などに従事される方々にもご参加いただきたいと思います。ご案内しているところです。主にファクシミリを利用した案内となりますが、一部医療機関様にはEメールでお知らせしております。Eメールによるお知らせを希望される場合には地域医療連携課にご連絡ください。

当院を会場としてシリーズで開催しているものに「緩和ケア勉強会」と「がん化学療法勉強会」があります。今年度は次のとおり開催し、院外からも多数ご参加いただきました。ありがとうございます。次年度も継続して開催する予定ですのでよろしくお願いいたします。

2017年度「緩和ケア勉強会」及び「がん化学療法勉強会」開催状況

項目	開催日	内容
緩和ケア勉強会	2017.6.28 (水)	「緩和ケアってなに? …悪心・嘔吐対策のポイント…」 消化器内科 垂石正樹 医師 ミニレクチャー「退院支援ってなに?」 地域医療連携課 松倉優弥 看護師
緩和ケア勉強会	2017.9.7 (木)	「がん疼痛の評価と治療」 副院長/麻酔科 一宮尚裕 医師 ミニレクチャー「オピオイド誘発性便秘症に対する新しい治療薬」 製薬会社担当者 展示・体験「持続硬膜外ブロックで使用しているディスプレイ持続注入器の展示・体験」
緩和ケア勉強会 (終末期の緩和的浮腫ケア講習会)	2017.9.9 (土)	「終末期の緩和的浮腫ケア講習会」 講義「リンパ浮腫基礎編」「当院での実際」 アロマを使用しての下肢浮腫ケア・ドレナージュの実技 筒状包帯の説明 当院で使用しているケア用品の紹介・展示 講師:当院緩和ケア認定看護師ほか
緩和ケア勉強会	2017.12.12 (火)	「その人らしい生き方を尊重した緩和ケアを目指して」 精神神経科 泉将吾 医師 ミニレクチャー「摂食量アップに繋げる食支援のコツ」 栄養給食科 宮松幸佳 管理栄養士
緩和ケア勉強会	2018.2.2 (金)	「緩和医療領域における放射線治療」 北海道大学病院放射線治療科 木下留美子 医師 ミニレクチャー「緩和ケア領域で使う漢方」 製薬会社担当者
がん化学療法勉強会	2017.6.21 (水)	「知って活かせる抗がん剤の曝露対策」 看護部 鈴木慎太郎 がん化学療法看護認定看護師
がん化学療法勉強会	2017.8.16 (水)	「抗がん剤について ～薬剤師が関わるレジメン監査→調製・投与→副作用モニタリングの流れ～」 薬剤科 寺田和文 がん専門薬剤師
がん化学療法勉強会	2017.12.6 (水)	「知って活かせる血管外漏出の看護 ～末梢静脈からの抗がん剤投与～」 看護部 鈴木慎太郎 がん化学療法看護認定看護師
がん化学療法勉強会	2018.2.14 (水)	「免疫チェックポイント阻害薬について」 製薬会社担当者 「当院でのPD-1阻害剤の治療経験」 外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科 福永亮朗 医師

日本では、毎年約15,000人が子宮頸癌（上皮内癌含む）と診断され、約3,500人が死亡しています。そのうち、44歳までに約400人が死亡しています。20代30代の女性に限ればもっとも罹患率が多い癌は子宮頸癌であり、増加傾向が続いています。

日本産科婦人科医会によると子宮頸癌を起こす高リスク型のヒトパピロームウイルス（HPV）を検出できるHPV-DNA検査という新しい診断技術の開発・導入で子宮頸癌検診が「大きな変革の時を迎えている」と述べ、細胞診との併用のメリットとして、①高度病変（CIN2以上）の検出精度が飛躍的に向上することが期待される、②両検査とも陰性の場合には検診間隔が延長でき費用対効果も優れていると考えられる-の2点を挙げています。

2018年1月から旭川市で実施されているHPV併用検診の普及によってCIN2以上の偽陰性率は1/1000まで減少できます。まず感度の高いHPV検査でスクリーニングし、その後特異度の高い細胞診を行う方がより効果的と考えられます。

産婦人科 林博章

（診療科からのご案内）

呼吸器内科 福居嘉信

当科は長らく北海道大学第一内科の関連病院の1つでしたが、平成29年3月で関連病院から外れ、医師の派遣が終了しました。それに伴い、長年勤務された岡本佳裕先生が退職されました。

平成29年4月からは、常勤の福居嘉信と、午前9時から午後2時までの非常勤の谷野洋子先生の2人で診療を行っています。

当科の医師の減員に伴い、現在当科に通院していない患者さんを新たに受け入れることは困難ですが、当科に通院中の患者さんの病状が悪化した際は、なるべく当科で対応するように心がけております。

（診療科からのご案内）

胸部外科 村上達哉

胸部外科は4名で診療しており、うち2名は海外で臨床経験を積んだ心臓血管外科専門医です。冠動脈疾患、弁膜症、大血管疾患（大動脈瘤、大動脈解離）、末梢血管疾患に対して幅広く外科的治療を行っています。人工弁を使用しない大動脈弁形成術、僧帽弁形成術も積極的に行っています。また、大動脈瘤に対して胸部、腹部ともステントグラフト内挿術が増えてきており、放射線科と共同で治療しています。末梢血管では外科治療とカテーテル治療を組み合わせたハイブリッド治療も行っています。

24時間365日対応しておりますので是非ご紹介ください。

がん患者さんの就労支援の取組

☆経過

国のがん対策推進基本計画が平成24年に見直された際に、重点課題として「働く世代や小児へのがん対策の充実」が挙げられました。また、平成28年12月のがん対策基本法改正では、「事業主の責務」として、働く人ががんになっても雇いを継続できるよう配慮することが明記され、国や地方公共団体は必要な施策を講じることとなりました。

国の機関である公共職業安定所が、がん診療連携拠点病院と連携して就職支援事業に取り組み始め、旭川公共職業安定所（ハローワーク旭川）でも、旭川医科大学病院で平成29年1月から就労支援を開始しました。そして、当院では、平成29年2月にハローワーク旭川と協定を締結して、最初の患者相談を3月に実施しました。

☆相談方法

当院では、相談の希望があったときに、相談希望者・ハローワーク旭川の就労支援ナビゲーター・当院がん相談員が当院の相談室で面談を行います（原則毎月第2火曜日の午前中）。その後は、就労支援ナビゲーターが個別に必要な連絡をとるなどして支援していきます。

就労支援ナビゲーターと当院がん相談員が相談支援に当たることにより、疾患の特性や患者の状態にふさわしい仕事を検討して、就労に結びつけられるよう努めています。がん相談員は、関連する生活上の相談にも対応できます。

☆就労支援の実績

これまで、月に1～3名 合計17名に対応し、そのうち5名が就労に至りました。具体的には、がんに罹患したことによりいったん退職したけれども治療が一段落したため再就職に結びついた方や治療により退職を考えていたものの治療と就労を両立できるように就労支援ナビゲーターとともに支援した事例がありました。

☆医療機関の皆様へ

当院の患者さんでなくても相談に対応できます。悩んでいる患者さんがいらっしゃいましたら、当院がん相談支援センターをご紹介します。

(求職者の方へ)

がん患者さんのための就労支援

～ハローワーク旭川による出張就職支援のご案内～

- ◆通院の必要はあるが、働きたい。
- ◆自分の病状、体力にあった仕事を見つけたい。
- ◆治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい。
- ◆しばらくぶりに仕事に戻ることに不安を解消したい。
- ◆就職活動で、企業に病気のことを伝えるべきか迷っている。
- ◆仕事復帰に際して、どんなスキルが必要か知りたい。

こんな悩み・不安をハローワーク旭川が解消します

ハローワーク旭川では、キャリア・コンサルティングの資格や人事労務管理の経験がある、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」を配置。マンツーマンであなたの就職を支援します。能力や適性、病状、治療状況などを考慮して、あなたにぴったりの仕事をご紹介します。

- 症状、通院状況に配慮した求人を探します。
- 仕事復帰の不安解消のための相談に応じます。
- 応募書類の作成や面接の受け方についてアドバイスします。
- 職業訓練や就職支援セミナーなどをご紹介します。

ハローワーク旭川の就職支援ナビゲーターが
市立旭川病院 がん相談支援センターで皆さまの相談に応じます。予約制ですので、ご希望される方はぜひ、ご連絡ください。

【受付方法】
市立旭川病院「がん相談支援センター」（正面玄関横）へお申し込みください。
電話 24-3181 内線5372

市立旭川病院 北海道労働局 ハローワーク旭川

発行

〒070-8610 旭川市金星町1丁目1番65号 市立旭川病院 地域医療連携課
TEL: (0166) 24-3181 (内線5373) FAX: (0166) 26-0008 Email: renkei@city.asahikawa.hokkaido.jp